



県政報告 県政を身近に

平成28年
2016
春季号

Vol.19

埼玉県議会議員

武内まさふみ

【発行】
埼玉県議会 自由民主党議員団

〈ごあいさつ〉

平成28年2月定例県議会が3月末に終了しました。今議会では、私は、特別予算委員会での質疑をはじめ、障害者差別解消に関する2本の議員提案条例の原案づくり、まち・ひと・しごと創生総合戦略特別委員会における修正案の提案などを担い、議会の政策機能の向上と県民目線の県政チェックに貢献できたものと思っています。

今年度は、福祉保健医療委員会の副委員長として、医療・福祉分野の取組に力を入れてまいります。また、「県政を身近に」の初心をモットーに、引き続き県の動きを皆様にはわかりやすく伝えてまいります。皆様のご意見、ご要望をお寄せください。

平成28年2月定例県議会 (平成28年2月19日～3月25日)

平成28年度 一般会計 予算案を **可決** 総額 **1兆8,805億2,600万円** 前年比 **2.8%増**
新規予算から

1 魅力UP! 時間が見える インターアクセス道路整備

22億1,480万円

県の主要な幹線道路5路線の開通目標年度を公表し、インターチェンジへのアクセス機能を強化して企業進出を促します。



県道飯能寄居線バイパスの完成は平成30年度

2 川の国埼玉 はつらつプロジェクトの推進

4,500万円



川を資源としてまちづくりや観光地づくりを行う市町村と連携し、地域振興につながる魅力ある水辺をつくります。平成28年度は、市町村提案に基づき、県が箇所を選定して計画策定に着手します。

3 私学助成の充実 自民党県議団の要望でさらに前進

478億6,385万円

- ①私立高校の授業料・施設費等の実質無償化の拡大 年収350万円未満→500万円未満 (授業料37万5千円/人、施設費等20万円/人)
- ②私立幼稚園教員の処遇改善のための特別補助を新設 1億374万2千円



4 農業版ウーマノミクス事業

2,125万円

地域の核となる女性農業者の育成のため、農業女子ビジネススクールを開設します。また、女性の視点を生かした企業との連携による商品開発を支援します。



県の総合戦略案に対する 自民修正案可決

自民党県議団は、昨年12月議会から継続審査になっていた「まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)」に対して修正案を提出し、賛成多数で可決されました。武内県議は特別委員会の作業部会の委員として修正案づくりを任されました。【主な修正点】

★ 目標達成に向けた重要指標を追加し、施策の進捗状況を毎年チェック。

★ 目標達成に責任を持つ管理者を知事部局に置き、知事に毎年県議会への達成状況の報告を義務づけ。

★ 小さな拠点づくりなど各地域の特色を生かした施策を追加。



▲特別委員会で答弁する武内県議

武内まさふみ 「県政報告会」のお知らせ

日時:平成28年6月5日(日)
午後3時～午後4時30分
会場:毛呂山町福祉会館 大ホール

●自民党県議団が2つの条例を独自提案 全会派一致で可決

1 障害のある人もない人も全ての人が安心して暮らしていける共生社会づくり条例

自民党県議団では、障害者差別解消法が今年4月に施行されることに先立ち、昨年6月にプロジェクトチームを立ち上げ、条例づくりに取り組みました。武内県議もチームのメンバーとして、様々な議論をしてきました。

この2つの条例は、障害のある人もない人も共生する社会を実現するための理念や県などの責務を定めた「条例」と、ろう者(耳の聞こえない人)とろう者以外の方が共生できる地域社会づくりのため、手話を言語と認める「手話言語条例」です。本会議では、全議員の賛成を得て採択することができました。

県レベルで制定した手話言語条例は、鳥取県、神奈川県、群馬県に次いで、全国4例目の制定になります。

2 手話言語条例



▲プロジェクトでの検討会の様子

大規模トマト農場計画

トマト農家の懸念に応え補助金停止を決議～環境農林委員会～

付帯決議は、「県が責任を持って実証・普及を一元的に行う体制が整ったと認められるまで」補助金の支出を停止する、との内容。

県議会では、昨年の2月議会で、県内生産者への影響に配慮すべきとの付帯決議を付けました。しかし、県の行政財産である試験場の土地を一大手企業が14年間借り受け、独占的に低価格販売をする恐れがあるとのトマト農家の懸念が払しょくされないことから、契約期間を5年程度に短縮することなどを要望し、環境農林委員会において再度、決議を付しました。

※この事業は農林水産省が全国10か所で進める「次世代施設園芸導入加速化支援事業」の一つ。県の久喜試験場にイオングループがハウスを建設し、温度や二酸化炭素濃度をコンピュータ管理によりトマトの試験栽培を大規模に行うもの。国からの補助金は9億8,700万円。



▲農業ハウスの撤去が進む久喜試験場を視察する武内県議

武内県議は 福祉保健医療委員会 副委員長に就任!!

新年度議会人事 所属委員会等が決定

- 【武内政文県議の所属委員会】
- ◆福祉保健医療委員会 副委員長（常任委員会）
- ◆人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会 委員
- 【議長】
宮崎栄治郎（さいたま市）
- 【副議長】
石井平夫（蓮田市）
- 【自民党議員団団長】
小谷野五雄（日高市）

武内県議、予算特別委員会で質疑



県の5か年計画の最終年度仕上げの年として、知事から提案された28年度予算を8日間集中審議しました。武内県議は、環境農林委員長として、環境部、農林部の予算を中心に質疑を行いました。今回から部局審査となったため、知事に代わり、部局長が答弁に立ちました。

※質疑の一部はオフィシャルサイトに掲載いたしました。

質疑の項目

①エコタウンプロジェクトの評価



▲東松山市内のモデル街区

②産業廃棄物処理業界の環境産業へのステージアップ

③バイオマスエネルギーの導入促進

④「特A」プロジェクト推進事業



▲食味の最高ランク「特A」米をめざす

⑤県産木材の利用促進

⑥農山村への移住促進

武内まさふみの活動日誌

■1月17日 埼玉芸能フェスティバルに毛呂山町川角獅子舞保存会が出演



上田知事と一緒に記念撮影

■1月19日 経済・雇用対策特別委員会の県内視察

視覚障害者用の点字ディスプレイに用いられる点字セルで、世界で7割のシェアを獲得している企業（本社：小川町）を視察。現在、スマートフォン用薄型点字表示機の開発を進めています。



▲社員の方々と視察団一行

■1月20日 県の水産研究所（加須市）を視察



▲埼玉の川に生息する魚を展示



▲外来魚駆除用のボート

■1月26日 県道川越坂戸毛呂山線の工事着工を要望

「飯能寄居線バイパスの開通後の交通状況を見て検討したい。決して消極的に考えている訳ではない」との県土整備部長の回答。



▲毛呂山町の井上町長と堀江議長とともに要望

■1月30日 宿谷の滝（毛呂山町）への散策路を視察

周辺の伐採残材の処理を武内県議が県に依頼。農林部の補助により安全に通れるようになりました。



▲残材対策後の散策路

■2月2日 環境農林委員会の県内視察

大規模農業に取り組む農業法人（有）神扇農業機械化センター（幸手市）を視察。レーザーやGPSを装備した高性能大型農業機械を導入し、約80haの稲作栽培を行う。



▲大型コンバインの前で説明を受ける委員

■2月5日 知事のとことん訪問（日立製作所 中央研究所 鳩山サイト）

脳の活動状況を可視化する技術や原子レベルの電磁場を観察・計測できる世界唯一のホログラフィー電子顕微鏡などを視察。



▲研究所幹部、上田知事と記念撮影